

別紙 調査対象科目

基盤科目/ コース	科目名	ナンバリング/ メディア	概要
基盤科目	問題解決の進め方 ('19)	110/TV	問題とは何か、どう発見し、どう解決するか、そのために必要な情報をどのように収集・整理し分析するかといった一連の過程を通し解決策を見いだす科学的技法を、様々な分野からの問題発見と解決の具体的な事例とともに紹介する。この考え方を応用し生涯に渡り主体的に学ぶことを、そして、多様な協働して学び活用するスキルを身につけることを目指す。
基盤科目	身近な統計 ('18)	110/TV	高度情報化社会が謳われる中で、私たちの身の回りにはテレビや新聞・雑誌・インターネット等を通して多種多様な統計情報が溢れています。本講義では、統計の基本的な考え方、データの統計的活用の理論と方法を解説するだけでなく、諸種の統計情報が企業や行政の意思決定および社会・経済・自然現象の解明に具体的に活用されている事例を（VTR映像で）紹介します。また、更に具体的な理解を深めるため、身近なデータの表計算ソフトを使った簡単な分析方法も説明します。
基盤科目	初歩からの数学 ('18)	110/TV	これから大学で数学の勉強をするにあたって必要な事柄を解説する。講義の内容は、高等学校までに学ぶ数学であるが、それをできるだけ体系立てて解説していく。数学の各分野におけるさまざまな基本概念を理解することに重点をおき、数学的な見方、考え方、そして正確な議論の進め方を学ぶ科目として講義する。特に初学者にとって分かりづらいとされる分野を丁寧に解説したい。
基盤科目	フランス語I ('18)	110/TV	ジュールとヴィクトールの二人の登場人物を中心に話が進む短いスケッチをもとにフランス語の基礎を学ぶ。「フランス語Ⅱ」と併せて基礎的な文法事項の全体を習得することになる。スケッチの解説、発音の反復練習、文法事項の説明、練習問題を通じて、各回の習得目標を無理なく達成できるように工夫してある。またスケッチは自然なフランス語での会話を心がけたものとなっている。また、「Paroles de francophonie」のコーナーで、フランス語がとるさまざまな姿に触れ、フランスおよびフランコフォニー（フランス語圏）の過去と現在について理解を深めてゆき、「Rythmes et voix de la langue française」のコーナーでフランス語の音やリズムを身につける。
心理と教育	心理学概論 ('18)	220/TV	心理学に興味を持つ者は多いが、そのほとんどが心理学という学問について漠然とした印象しか持っておらず、また知識を持っていたとしても、特定の心理学領域についてのものに偏っていることもある。心理学は、ひとの心という捉えどころのないものを研究対象としており、それゆえに扱うトピックの幅も広い。そこで本科目は、心理学を学び始める者が、その第一歩として、心理学がどのような学問かを知り、今後、心理学のどの領域の学習を中心に進めるとしても、その基盤となるような知識を提供する。具体的には、心理学という学問の基本的な考え方や、研究方法、学問成立の背景などを紹介するとともに、個別の心理学領域についても概説していく。
生活と福祉	食と健康 ('18)	310/TV	食品は様々な化学物質の混合物であり、その栄養機能、生体調節機能を通して、我々の生命維持に必須の役割を果たしている。一方、偏った食生活からは種々の疾病を招いている。このような食品や食品成分による生化学過程を基礎から学習することにより、現代における食と健康をとりまく重要な課題の理解を図る。
情報	情報社会のユニバーサルデザイン ('19)	310/TV	情報技術の進展により、情報は現代社会において大きな意味を持つ。情報は、まちづくり、ものづくり、教育、交通など、生活のあらゆる場で不可欠なものである。しかし、現代社会においては、多様なニーズを持つ人々が、情報、教育、放送メディア、社会活動などに「アクセス」することの重要性に対する認識が高まっている。この講義では、情報や教育のアクセシビリティを中心に、国内外の状況、支援技術やユニバーサルデザインの状況を理解し、高齢化、情報化の進む21世紀における人間と情報の在り方について考える。
自然と環境	物理の世界 ('17)	310/TV	本科目は「自然と環境コース」が提供する物理系5科目の中で、「初歩からの物理」から専門2科目（「力と運動の物理」「場と時間空間の物理」）への橋渡しをする役割を果たす。「物理法則に基づいて自然現象を記述する」見方、考え方を伝えることに重点を置き、数学的な技法にもある程度立ち入る。第1回で物理学の全体像を示し、各分野の学び方を提示する。第2～4回で「力学」、第5・6回で「熱力学」、第7・8回で「振動と波動」、第9～11回で「電気と磁気」、第12回で「相対論」、第13回で「量子論」、第14回では「極微の世界」を扱う。さらに第15回では専門的な物理学の学習への展望を示すとともに、現在の物理学の先端を紹介し、さらなる学習への弾みをつける。科目の方針として、印刷教材、放送教材を通して19世紀を代表するファラデーと、21世紀の先端を走る欧州原子核研究機構（CERN）を対比させ、その間を繋ぐ形で物理学の世界を俯瞰することを柱とする。
基盤（語学）	教養で読む英語 ('19)	130/OL	自然科学、社会科学、人文学の幅広い分野からテキストを選び、それらを精読していくと共に、毎回ゲストの先生をお迎えしてそのテキストの内容について解説していただく。
基盤（語学）	看護・医療の英語 ('19)	110/OL	看護・医療の現場に必要な英語の語彙や文法について、会話パターンを中心に基礎的な知識を習得する。また類似した状況において、応用ができるように多くの表現事例を学ぶ。

生活と福祉	生活環境情報の表現－GIS入門（'20）	220/OL	近年の生活空間における情報通信技術（ICT）の発展と、通信インフラの整備により、生活者は、場所や時間を選ばず、日常的に情報を享受するだけでなく発信が可能である。このような今日の生活環境で扱う情報の中で、地理空間情報および地理情報システム（GIS）に焦点を当て、その扱い方、表現方法、解析方法の基本的な手法を解説する。
生活と福祉	循環器の健康科学（'20）	220/OL	循環器疾患の病態、症状、治療法に関する講義を行う。また、運動習慣、食事、禁煙などのあるべき生活習慣について講義を行い、生活習慣の改善点について、自分自身を振り返り、行動変容のあり方を、自ら考える。（一般学生、健康・長寿に関心のある学生、介護系の職種）
心理と教育	生涯学習を考える（'17）	310/OL	生涯学習は、知っているつもりでも本当はよく理解されていないという、現代における「知っているつもり」概念の一つである。その生涯学習について、その基本的な意味がどんなのものであり、どのようにして、またどんな背景の元に形成されたのか、その基本的な理念は時代とともにどう変化してきたのか、さらに、現在、具体的な場面でそれがどう実施されているのか、そこにどのような問題点があるのか、今後生涯学習はどのように展開していくのか、といったさまざまな観点から、多角的に考えていこうというのが本講義の趣旨である。オンライン科目であるため、非同期ながら双方向性は最大限に生かしたいと思う。
心理と教育	キャリアコンサルティング概説（'20）	220/OL	少子化・高齢化が進み、人口減少が著しい今日の日本社会において、一定の経済成長を継続しつつ安定した生活水準を維持していく上で、「労働生産性の向上」は不可欠の条件である。そのためには、十分な職務遂行能力を有する人材を求める側（求人サイド）と、能力に見合った仕事を求める側（求職サイド）とのマッチングが何より重要なポイントとなる。一方、労働市場の変化により、企業による人材育成（OJT）投資は減少の一途をたどっており、労働者個人の主体的なキャリア形成が求められている。しかし、個人としてできることには限度があり、キャリア形成のために何をすべきか迷っている人々ほどの年齢階層にも非常に多く存在するのが現状である。2002年度に発足したキャリアコンサルタント資格制度は、そうしたキャリア形成支援の専門家を公的に認定する制度である。本講義では、キャリアコンサルタントの職務内容を縦糸とし、それに関わる社会的背景やさまざまな環境を横糸として、現代におけるキャリア形成支援の実際について体系的に論ずる。
社会と産業	椅子クラフト文化の社会経済学（'20）	320/OL	椅子をはじめとする「クラフト生産」が現代に示す社会文化には、どのような特徴があるのかをこの講義では捉えます。具体的には、椅子クラフト（家具工芸）を中心にして、生産、消費、流通、労働などのプロセスを追うことによって浮かび上がってくる、現代経済社会の特徴を具体的に考察します。なぜ椅子をつくるのか、椅子に何を求めるのかなどについて明らかにしていきます。
人間と文化	フィールドワークと民族誌（'17）	320/OL	文化人類学の研究の基礎となる、特定の社会での「フィールドワーク」と、その成果を包括的な視点でまとめた「民族誌」を、講師自身の経験を基に具体的に論じる。この講義では、人間社会の最も基本的な営みとしての伝統的生業（狩猟採集、漁労、牧畜、農耕）を軸とするが、とくに、ふたりの主任講師が専門とする狩猟採集と牧畜を中心に据える。狩猟民、牧畜民などと呼ばれる人々は、熱帯林、乾燥地、寒冷地、高地など、農耕に不向きな環境のなかで、自然と対峙し、適応し、また自然を巧妙に利用して伝統的生業を維持してきた。一方で、それらの社会は、現在、急激な変化にさらされている。すでに大きく変化し、もはや狩猟社会や牧畜社会とは言えない社会もある。また、近代化した社会においても、狩猟採集や牧畜の要素が残されている場合もある。この講義では、そうした社会も取り上げる。民族誌の記述においては、生活や文化の多様な構成要素の間の相互関連性が重要であるから、生業とともに、環境との関わり、日常の暮らし、社会の仕組み、外部世界との関係、また、回によっては祭りや儀礼などの非日常の暮らし、歴史や通時的変化などについても、できるだけ包括的に論じる。この講義で扱う社会は、その多くが「周縁的社会」と言えるものだが、それらの社会も現代では世界の動きと大きくかかわっており、「周縁からの視点」によって、世界の動きがより鮮明に見える。なお、講義にあたっては、講師自身が撮影した現地の写真や映像などを多用しながら、フィールドでの経験も紹介していく。
情報	情報ネットワーク（'18）	220/OL	情報通信技術の進展によって、情報ネットワークは社会的にも情報文化の面でも大きなインパクトを与えている。本科目では情報通信ネットワークを支えている基本技術や機器、インターネットの仕組み等について学習する。また社会の様々な分野で行われている情報ネットワークを利用したサービスについて学習する。
情報	コンピュータグラフィックス（'22）	320/OL	3次元コンピュータグラフィックス（3DCG）の基本を解説し、簡単な描画を実践する。3DCGの描画の仕組みに重点を置き、その技術の基本原理を、描画例や応用例を示しながら平易に説明する。3DCGの発展の歴史や応用から始まり、描画手順、座標変換、3次元形状の作成、画像の生成、質感表現など、3DCGの原理と各種手法、そして、イメージベースの手法や照明環境の復元等の応用へと展開する。3DCGの作成と構成、描画について理解を深めるため、3DCGソフトウェアを使って簡単な3DCGを作成・描画する実習を含む。
自然と環境	地球と環境の探求（'20）	320/OL	現在の地球のシステムの成り立ちを、主に物理化学の視点から学習する。化学熱力学の基礎を学び、地球の内部、沈み込み帯の物質循環、および表層環境の物質とエネルギーの流れ、について学習を深める。また、地球と環境に関する観測方法についても、その物理化学的原理を解説する。学習内容に対応した小演習やPC計算実習を行う。